



滋賀県信用保証協会 サステナビリティレポート2023 (N01)



「経済・社会・環境」課題の解決に向けた中小企業の取り組みを信用保証で後押し

「経済・社会・環境」課題の解決に取り組む中小企業の取り組みを応援するために「SDGsトライアル保証」と「SDGsステップアップ保証」を活用しました。

【令和5年度 保証承諾実績】

SDGsトライアル保証	25件	1億41百万円
SDGsステップアップ保証	11件	1億16百万円



保証利用企業のSDGsの取り組みを「信用保証レポート」で紹介し、SDGsの普及につなげています。



経営者保証を不要とする取り扱いの推進で持続可能な企業経営を後押し

経営者保証に依存しない保証への取り組みとして、経営者保証を不要とする保証制度の推進を行うとともに、新たに保証料割引制度を創設するなど整備を進めました。また、経営者保証ガイドラインを活用した事業再生にも取り組みました。

【令和5年度 保証承諾実績】

経営者保証なし対応（法人）	401件	
スタートアップ創出促進保証	16件	1億48百万円
事業承継特別保証	2件	1億40百万円
財務要件型無保証人保証	1件	33百万円
ロングラン70財務型	20件	11億29百万円



地域経済の新たな担い手であるスタートアップ企業や創業者の創出を後押し

地域経済の新たな担い手となる創業者の資金調達を信用保証にてバックアップしました。また、外部専門家による診断や創業予定者に対する創業計画策定支援を実施しました。

【令和5年度 実績】

- ・創業に係る保証制度の保証承諾実績 469件 24億26百万円
- ・専門家派遣（創業関係）実施先 15先

創業セミナーを実施し、経営・財務・人材育成・販路開拓を習得できる内容で持続可能な事業経営ができるよう支援しました。



持続可能な企業経営に向けた収益力改善・事業再生・再チャレンジの総合支援

中小企業者の抱える経営課題の実態把握を行い、金融機関と連携して最も適した支援策を実施するとともに、「伴走支援型特別保証」を活用した資金繰り改善支援を進めました。

また、収益力改善に向けた外部専門家派遣による経営診断や経営改善計画策定を進めるとともに、関係機関と連携して「経営改善サポート保証」等を活用した経営改善・事業再生にも取り組みました。

【令和5年度 実績】

- ・伴走支援型特別保証の保証承諾実績 3,107件 537億42百万円
(うち借換 1,849件 377億83百万円)
- ・専門家派遣 経営診断 申込63先 (終了60先)
計画策定 申込18先 (完了17先)





滋賀県信用保証協会 サステナビリティレポート2023 (NO2)

デジタル化の推進により 利便性の高いサービス提供を目指して

紙文書の電子化や電子決裁など当協会のデジタル化に向けて、デジタルインフラ整備を順次進めているところです。

4月には、定例業務を自動化するシステム「RPA」を導入し、作業時間の大幅な削減と業務品質の向上を実現しました。

また、6月には湖東信用金庫と保証申込の電子受付システムを開始しました。

中小企業者へのDX支援としては、4月に「政策推進資金（DXデジタル推進枠）」を創設するとともに、信用保証レポートへの「DX講座」の連載を行い、9月にはDXセミナーを開催しました。

滋賀県経済の振興発展に向けた 関係機関とのパートナーシップ

金融機関訪問による中小企業者の実態把握と支援ニーズの目線合わせを行うとともに、関係機関との勉強会、会議等を行い、意見交換、情報共有、案件協議等中小企業支援に向けた連携を進めました。

9月と2月には滋賀県中小企業診断士協会と連携し、中小企業者の経営課題解決に向けた「個別経営相談会」を実施しました。

【令和5年度 実績】

- ・金融機関訪問 556店舗
- ・金融機関主催のバンクミーティングへの参加（合計95回）
- ・中小企業活性化協議会主催の連絡会議への参加
- ・中小企業活性化協議会とよろず支援拠点との定例会議を毎月開催
- ・中小企業活性化協議会と金融機関本部との意見交換会の開催（合計7回）

大学と連携して地方創生に貢献する取り組みを進めます

滋賀大学（R5.11）、滋賀県立大学（R6.2）と活力ある地域づくりを進めるため、包括連携協定を締結しました。

令和5年度は当該協定に基づき、大学発ベンチャー認証者や学生及び卒業生を対象とした創業資金の割引制度「大学連携保証料割引制度」を創設しました。

【令和5年度 実績】保証承諾 1件 17,000千円

職員全員が安心して働くことのできる 職場環境を目指して

男女ともに仕事と育児を両立できる体制整備として、「産前産後休暇」を拡充し、「つわり休暇」と「出生サポート休暇」を新たに創設しました。

脱炭素社会の実現に向けて 中小企業のカーボンニュートラルへの取り組みを後押し



滋賀県造林公社との「びわ湖カーボンクレジット」パートナー協定に基づき、「政策推進資金（CO₂ネットゼロ推進枠）」の利用に応じて当協会が取得したクレジットでオフセットすることで、脱炭素社会の実現や環境配慮型経営への理解を広げ、中小企業者のカーボンニュートラルへの取り組みを後押ししました。

【令和5年度 実績】

政策推進資金（CO₂ネットゼロ推進枠）保証承諾 12件 72百万円
 J-クレジット購入 令和5年度実績 110千円（令和4年度貸付報告実績）
 令和6年度見込 143千円（令和5年度貸付報告実績）



SDGs債購入を通じた未来への投資や 人・社会・環境に配慮したエシカル消費の推進

▶ 大阪ガス、兵庫県、福祉医療機構、国際協力機構、高速道路機構が発行したSDGs債を購入し、社会・環境課題の解決に資するプロジェクトへの投資等に寄与しました。

▶ 「寄付型自動販売機」の導入により、職員のエシカル消費への意識を高めています。さらに、障がい者施設のアートをレンタルするなど、エシカル消費を推進しました。

【令和5年度 実績】

寄付型自動販売機 71,213円（R5.4～R6.1）



地域のSDGs活動への参加と環境保全に貢献

地域のSDGs活動への参画として、「大津・SDGs協働支援チャリティプロジェクト2023」に協賛し、「おおつ・SDGs子ども絵画コンクール2023」の審査を行いました。下期には特別賞（滋賀県信用保証協会賞）を贈呈しました。

また、環境保全への取り組みとして、7月に大津市の「琵琶湖市民清掃」活動に参加し、9月に外来魚駆除を実施し、1月には大津市主催の「市民ヨシ刈り」に参加しました。

